学校番号	2101

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）こどもの成長と遊び	単位数	１単位	年次	全年次（家庭基礎または家庭総合履修後）
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幼児の遊びを豊かにする文化財の制作を通して、子どもの世界を知り、理解を深めましょう。子どもの発達と遊びの重要性について理解しましょう。作品を制作する授業なので授業に出席しコツコツと作業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
子どものおもちゃや児童文化財について、なぜ必要なのか、どんな特徴があるのかなどについて知る。子どものおもちゃの製作を通して、器用さ、丁寧さを身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
子どもが遊びやすくなるように、子どもにわかりやすくなるように、どうすればよいかを考え作品に表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
自分の作品を客観的に見て、作業を改善していくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どものものの見え方や考え方、発達の時期や進み方について理解する。子どもの成長には遊びが欠かせないことを理解し、遊びを支える児童文化財の重要性を知る。子どものおもちゃの作成を通して、折り紙やハサミの使い方、手先の器用さ、作業をするときの丁寧さなどを身につける。	授業内の作品制作について、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、作品制作に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	子どもの文化財の制作	オリエンテーション 遊びの意義 子どもの心身の発達 子どもの遊びの支援 壁面(4 月、5 月または 10 月、11 月、12 月) おもちゃ制作① おもちゃ制作②	a:子どもの発達と過程と遊びの関係を理解する。制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けする、裁縫などの基本的な技術を習得する。 b: 作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c: 子どものおもちゃのせいさくについて関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 単元テスト	アレンジ	振り返り 実習態度
後半	子どもの文化財の制作	子どもの文化 子どもの表現活動 製作実習 壁面(6 月、7 月、8 月または 1 月、2 月、3 月)) おもちゃ制作③ おもちゃ制作④ おもちゃ制作⑤	a:様々な遊びの意義に関する動画を視聴し、理解する。制作するおもちゃについて、子どもにとってどんな意味があるのか、どんな工夫をすれば子どもが楽しく遊べるのか、何歳くらいの子どもを対象とするのかなど子どもの成長と遊びについての基礎的な知識を理解する。折り紙、紙を型紙通りに切る、色を塗る、のり付けする、裁縫などの基本的な技術を習得する。 b:作業手順についてよく考え、丁寧かつ安全に配慮して実習に取り組んでいる。 c:子どものおもちゃの製作について関心を持ち、意欲的に実習に取り組んでいる。	作品 レポート	アレンジ	振り返り 実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度